



2009年3月期 決算説明会

2009年5月1日(金)

ALPS電気株式会社

美しい電子部品を究めます

ALPS[®]

COPYRIGHT(C) 2009 ALPS ELECTRIC CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

目次



1. 2009年3月期 実績報告

1-1. 連結業績の状況

1-2. 電子部品事業の状況

2. 2010年3月期の見通し

2-1. 連結業績の状況

2-2. 電子部品事業の状況

目次



1. 2009年3月期 実績報告

1-1. 連結業績の状況

1-2. 電子部品事業の状況

2. 2010年3月期の見通し

2-1. 連結業績の状況

2-2. 電子部品事業の状況

2009年3月期 実績報告 連結業績の状況

(単位:億円、単位未満切捨て)

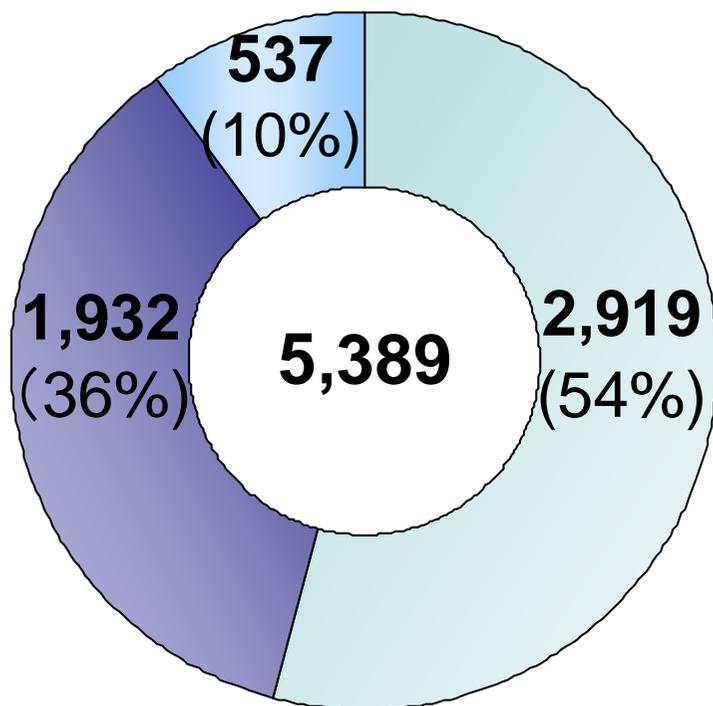
	2008/3期		2009/3期								
	実績		実績				前期比 増減	'09/3/17 公表値	公表値比 増減		
			上期	3Q	4Q	計					
電子部品事業	3,914		1,815	668	435	2,919	-994	2,900	19		
音響製品事業	2,475		1,222	394	316	1,932	-543	1,910	22		
物流・その他事業	536		280	140	117	537	0	550	-13		
売上高	6,926		3,317	1,203	868	5,389	-1,536	5,360	29		
電子部品事業	63		11	-93	-118	-200	-263	-215	15		
音響製品事業	70		10	-39	-72	-101	-171	-115	14		
物流・その他事業	64		25	12	2	39	-24	40	-1		
消去	1		1	0	0	2	0	0	2		
営業利益	198	2.9%	47	-119	-188	-260	-4.8%	-459	-290	-5.4%	30
経常利益	131	1.9%	74	-146	-155	-228	-4.2%	-359	-260	-4.9%	32
当期純利益	44	0.6%	8	-380	-321	-693	-12.9%	-738	-670	-12.5%	-23
為替	円/USD		114.28	106.11	96.32	93.60	100.54	-13.74	99.71	0.83	
	円/EUR		161.53	162.68	126.74	121.81	143.48	-18.05	143.03	0.45	

2009年3月期 実績報告 連結業績の状況



■ 事業別売上高の内訳

(単位：億円)



電子部品事業

ALPS[®]
ALPS ELECTRIC CO., LTD.

売上高 2,919億円 (前期比25.4%減)
営業利益△200億円 (前期 63億円)

音響製品事業

ALPINE
ALPINE ELECTRONICS, INC.

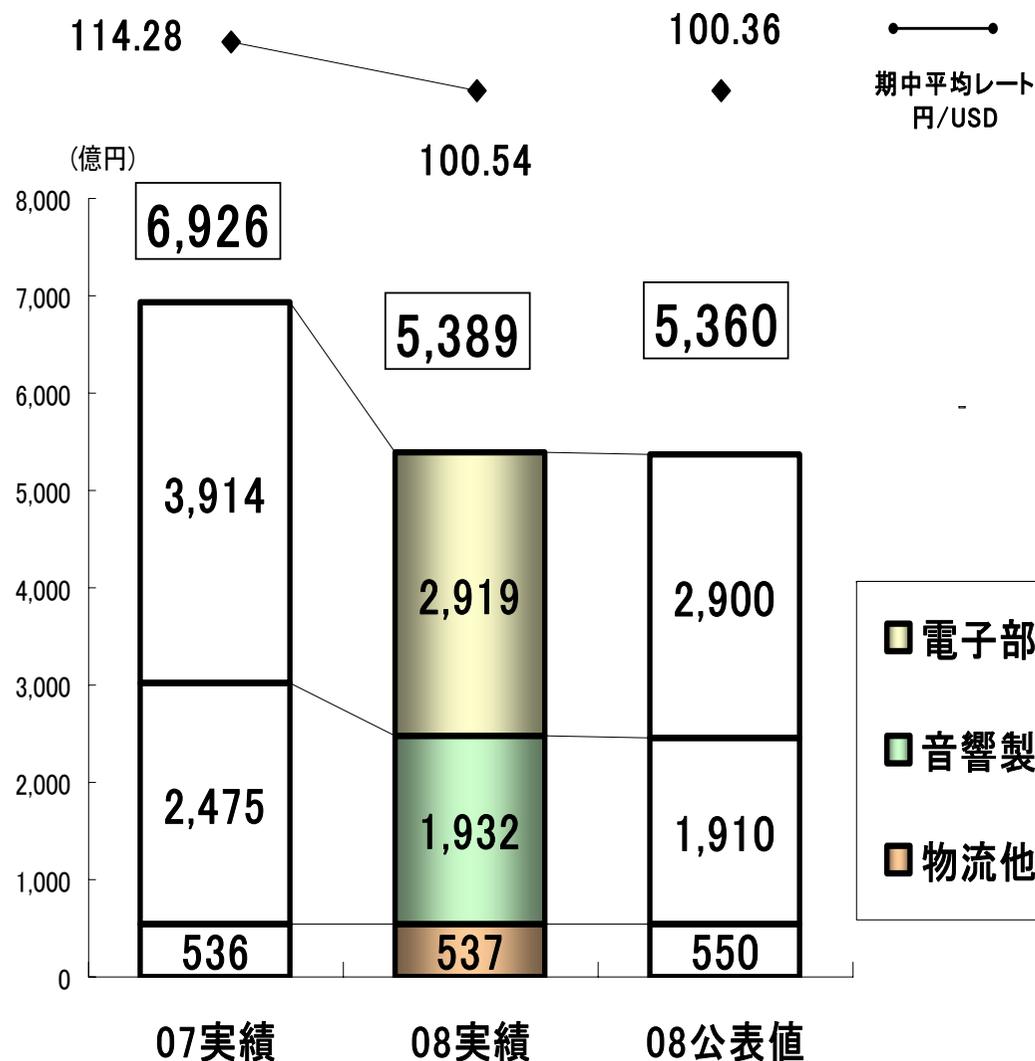
売上高 1,932億円 (前期比21.9%減)
営業利益△101億円 (前期 70億円)

物流事業、他

 **ALPS LOGISTICS CO., LTD.**

売上高 537億円 (前期比 0.2%増)
営業利益 39億円 (同 38.2%減)

■ 連結売上高の増減



前期比 $\Delta 1,537$ 億円

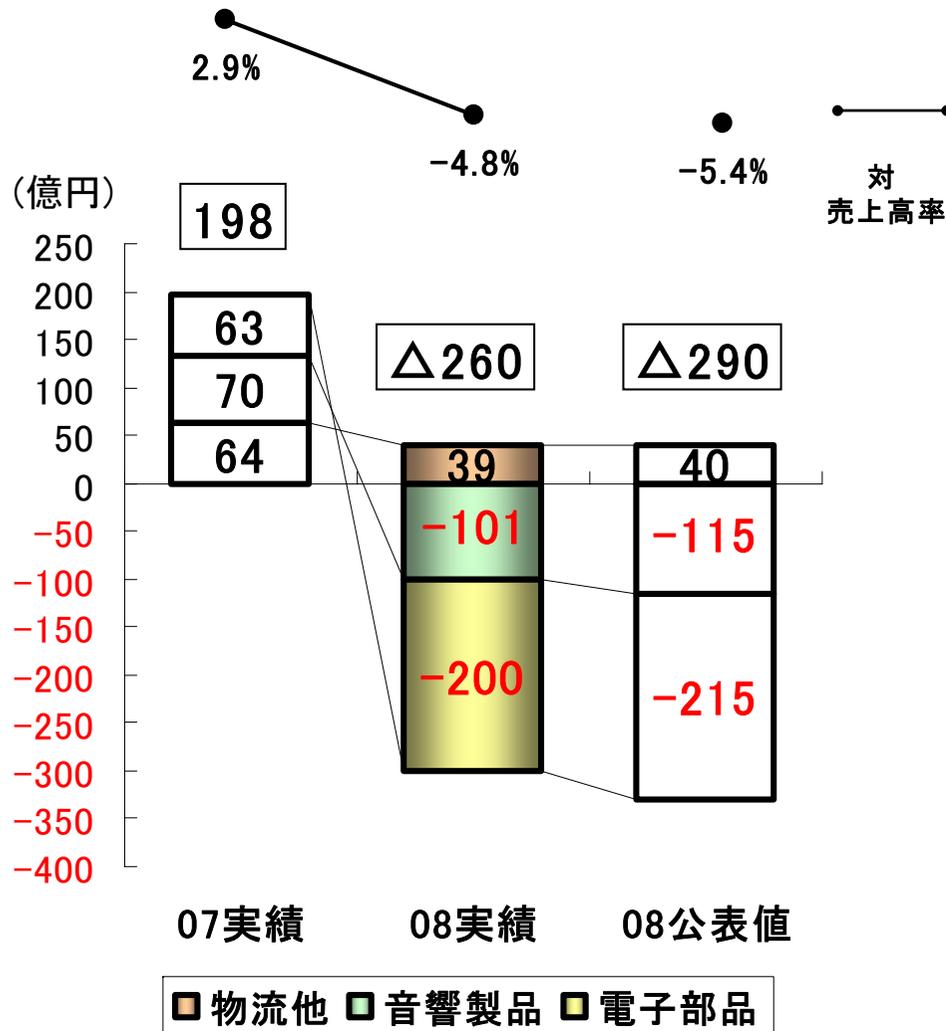
◇為替の影響 $\Delta 448$ 億円

- ・USD安円高 $\Delta 234$ 億円
- ・EUR安円高 $\Delta 110$ 億円
- ・他通貨(アジア等) $\Delta 104$ 億円

◇為替影響除く $\Delta 1,089$ 億円

- ・電子部品の減少 $\Delta 696$ 億円
- ・音響製品の減少 $\Delta 394$ 億円
- ・物流・その他の増加 + 1億円

■ 連結営業利益の増減



前期比 $\Delta 459$ 億円

◇ 為替の影響 $\Delta 100$ 億円

- ・USD安円高 $\Delta 53$ 億円
- ・EUR安円高 $\Delta 45$ 億円

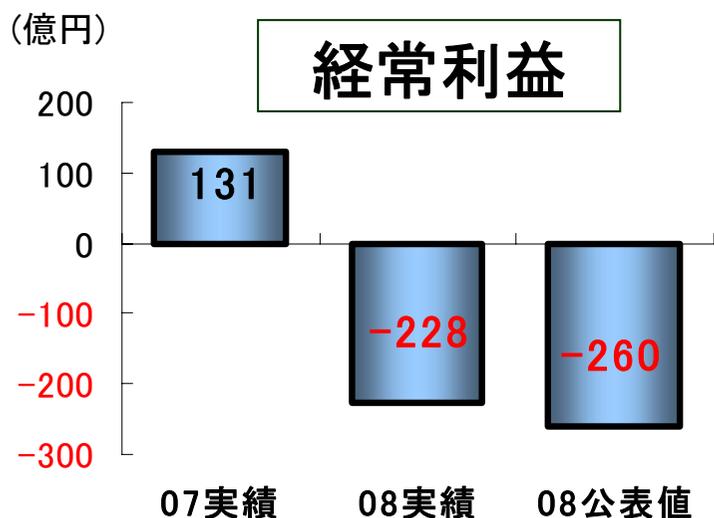
◇ 為替影響除く $\Delta 359$ 億円

- ・電子部品事業における減 $\Delta 216$ 億円
- ・音響製品事業における減 $\Delta 119$ 億円
- ・物流、その他事業における減 $\Delta 24$ 億円

(注)内訳は連結消去前を表示

2009年3月期 実績報告 連結業績の状況

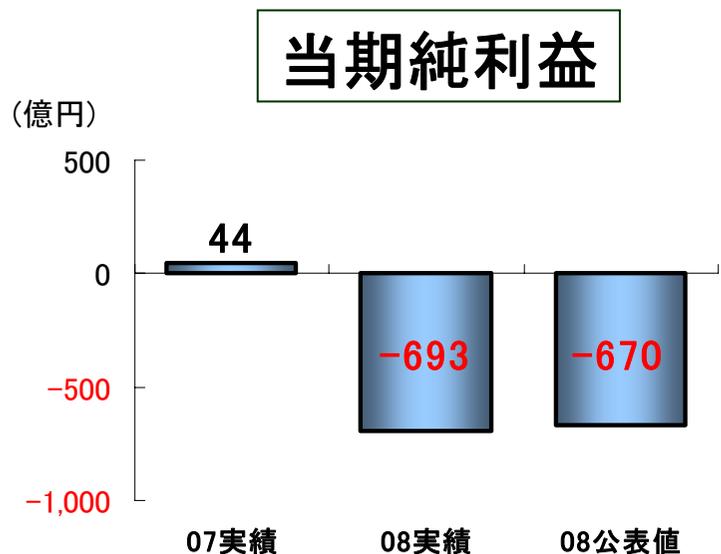
■ 連結経常利益、連結当期純利益の増減



(経常利益) 前期比 Δ 359億円

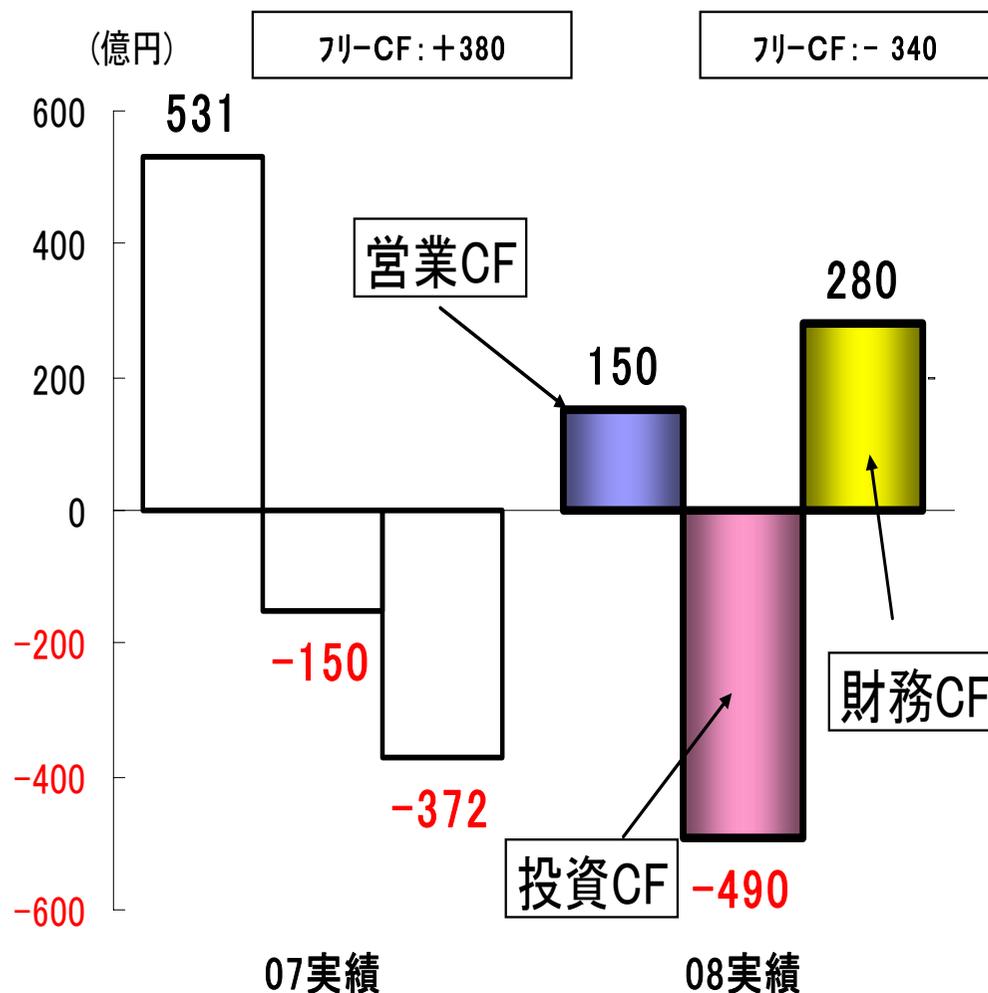
- ・営業利益の減少 Δ 459億円
- ・為替差損の減少等 +100億円

(当期純利益) 前期比 Δ 738億円



- ・経常利益の減少 Δ 359億円
- ・特別利益の減少 Δ 245億円
- ・特別損失の増加 Δ 147億円
- ・法人税の減少 +107億円
- ・繰延税金資産の取崩し等による法人税調整額の増加 Δ 173億円
- ・少数株主損益の減少 +82億円

■ 連結キャッシュ・フロー



主な増減の要因

◇ 営業CF増減 +150億円

- ・売上債権の減少 +322億円
- ・減価償却費 +298億円
- ・減損損失の増加 +271億円
- ・税金等調整前当期純損失 Δ 566億円
- ・仕入債務の減少 Δ 227億円

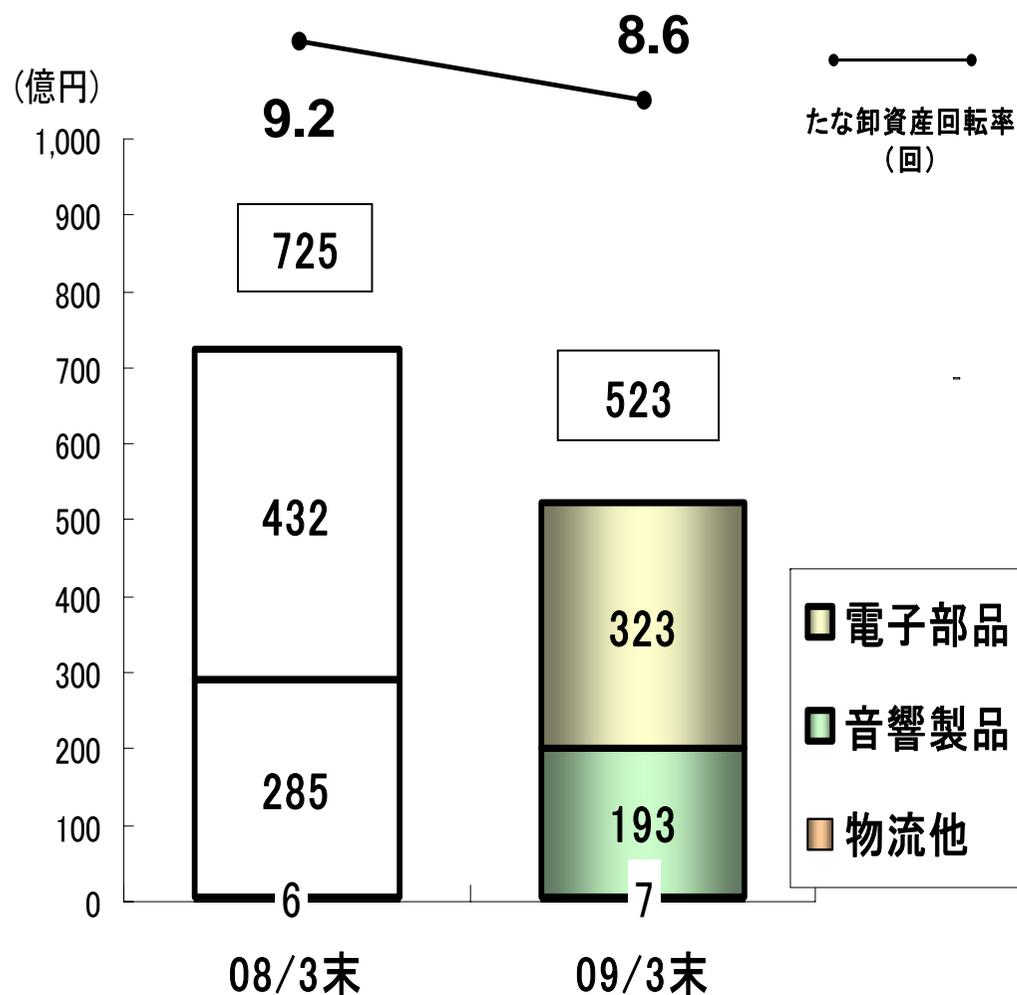
◇ 投資CF増減 Δ 490億円

- ・固定資産取得による減少 Δ 462億円

◇ 財務CF増減 +280億円

- ・短期借入金の増加 +306億円

■ 連結たな卸資産の増減



前期比 Δ 202億円

◇電子部品 Δ 109億円

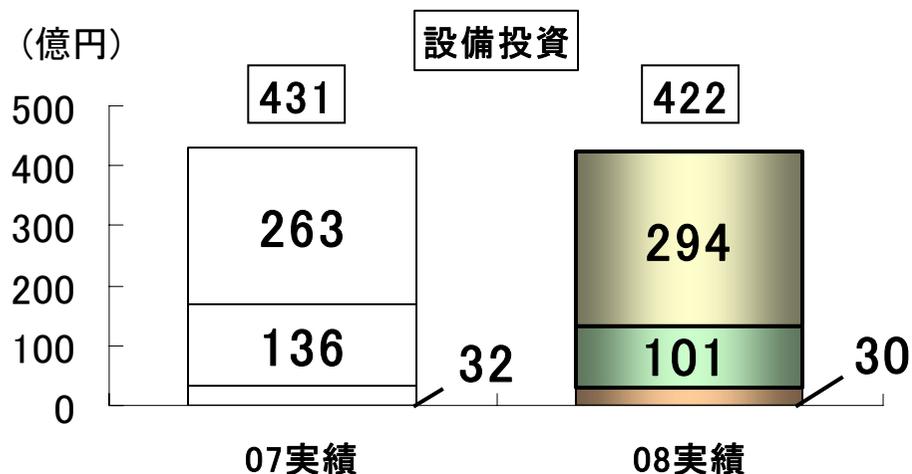
◇音響製品 Δ 92億円

※たな卸資産回転率 08/3 09/3

◇電子部品 8.8 → 7.8

◇音響製品 8.8 → 8.2

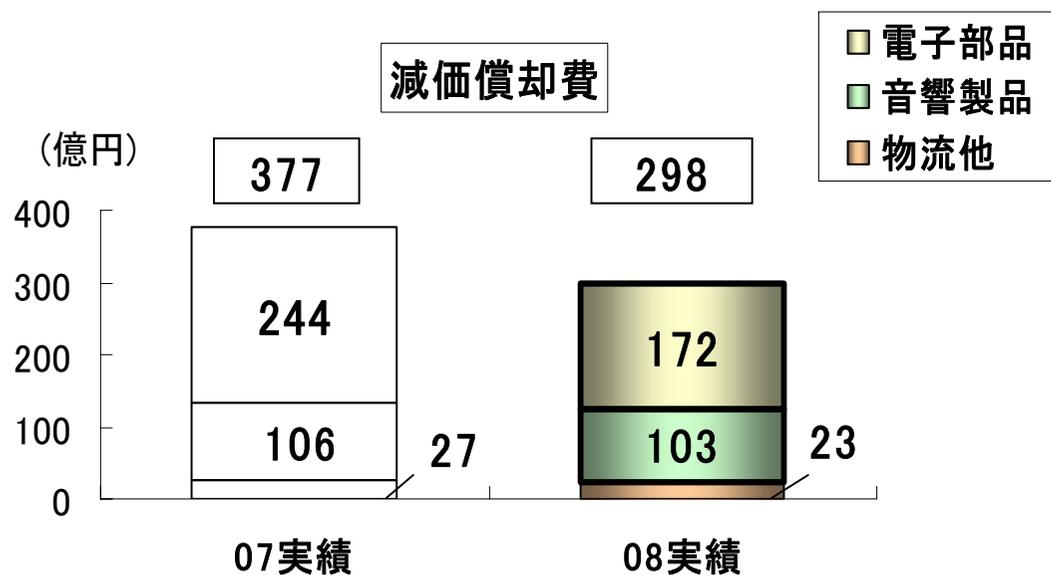
■ 連結の設備投資及び減価償却費の増減



前期比 $\Delta 9$ 億円

◇電子部品 + 31億円

◇音響製品 $\Delta 35$ 億円



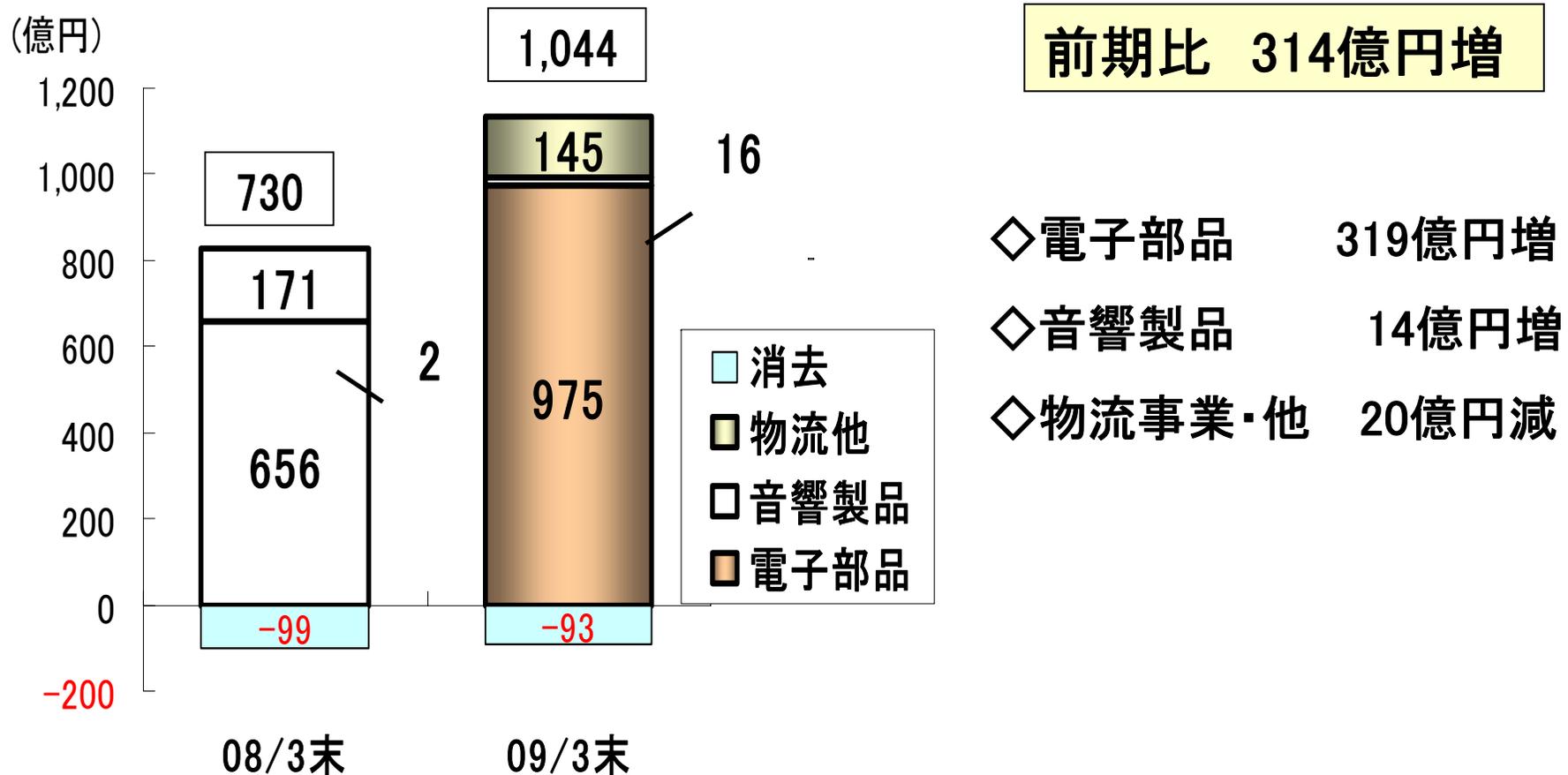
前期比 $\Delta 79$ 億円

◇電子部品 $\Delta 72$ 億円

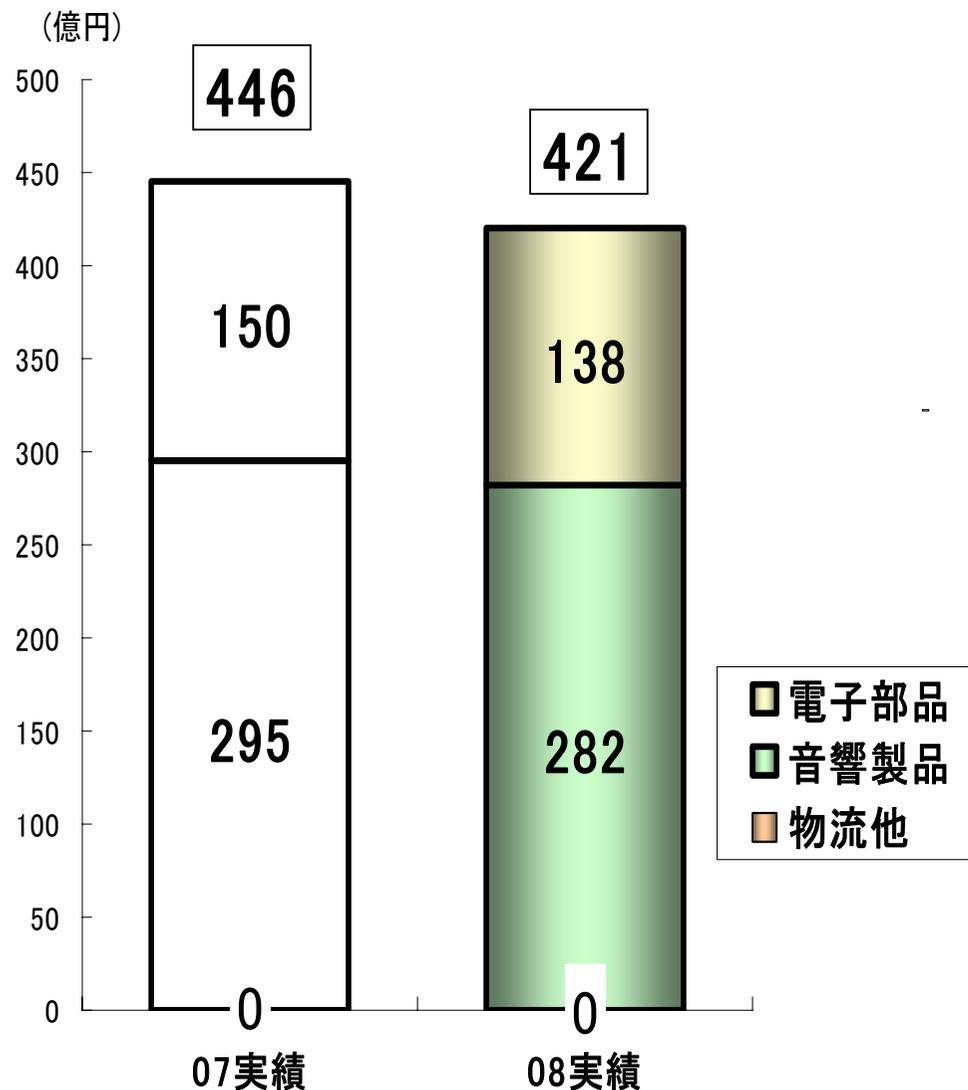
◇音響製品 $\Delta 3$ 億円

◇物流・他 $\Delta 4$ 億円

■ 連結有利子負債残高の増減



■ 連結研究開発費の増減



前期比 Δ 25億円

◇ 電子部品 Δ 12億円

◇ 音響製品 Δ 13億円

目次



1. 2009年3月期 実績報告

1-1. 連結業績の状況

1-2. 電子部品事業の状況

2. 2010年3月期の見通し

2-1. 連結業績の状況

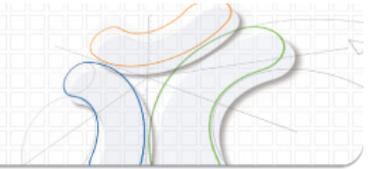
2-2. 電子部品事業の状況

2009年3月期 実績報告 電子部品事業の状況

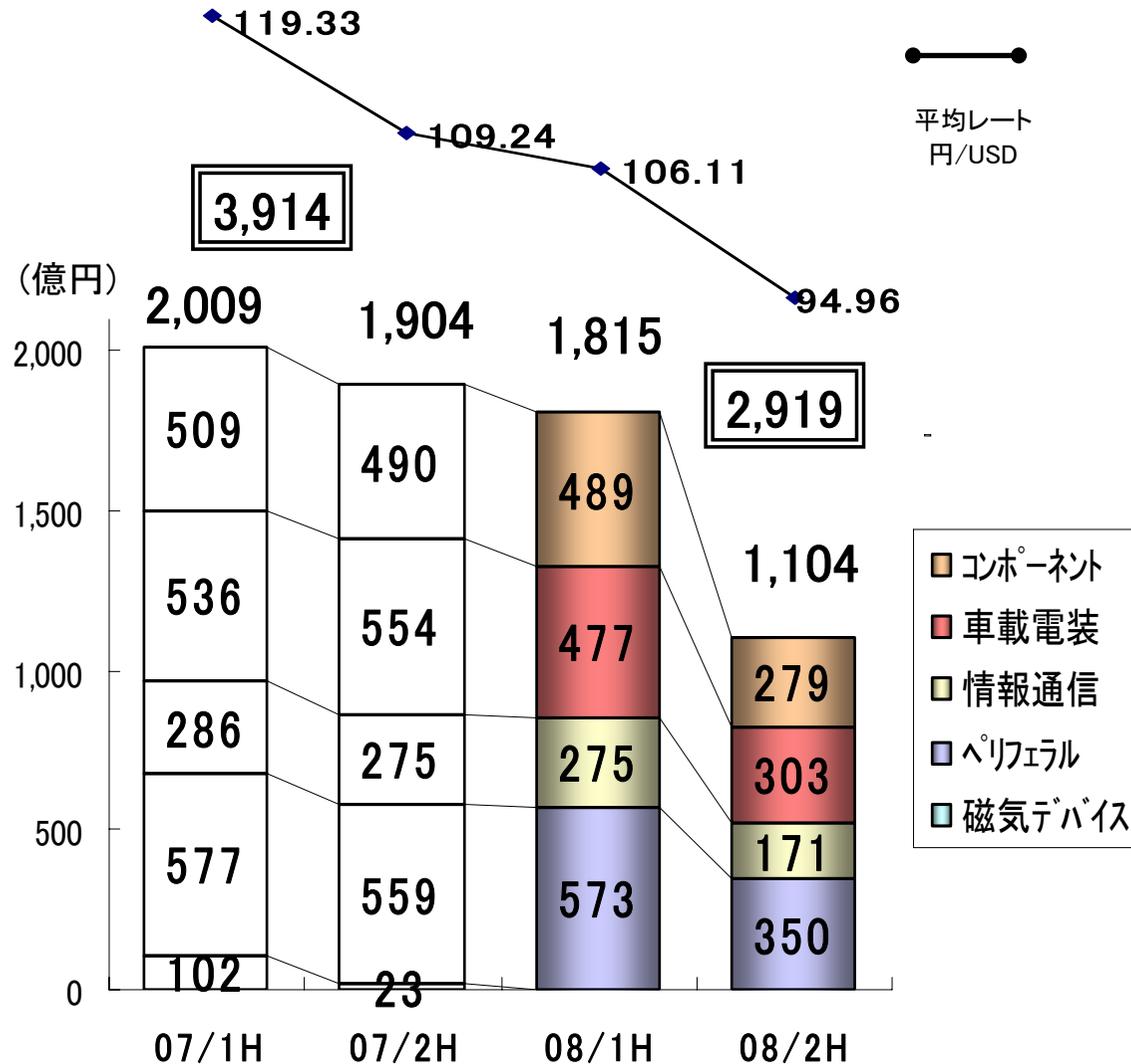


(単位:億円、単位未満切捨て)

		2008/3期	2009/3期							
			実績	実績				前期比 増減	'09/3/17 公表値	公表値比 増減
				上期	3Q	4Q	計			
コンポーネント事業	999	489	164	115	768	-231	760	8		
磁気デバイス事業	126	---	---	---	---	-126	---	---		
情報通信事業	561	275	103	67	446	-115	430	16		
周辺事業	1,136	573	232	117	923	-213	900	23		
車載電装事業	1,090	477	167	136	781	-309	810	-29		
売上高	3,914	1,815	668	435	2,919	-994	2,900	19		
営業利益	63 1.6%	11	-93	-118	-200 -6.9%	-263	-215 -7.4%	15		
為替	円/USD	114.28	106.11	96.32	93.60	100.54	-13.74	99.71	0.83	
	円/EUR	161.53	162.68	126.74	121.81	143.48	-18.05	143.03	0.45	



■ 売上高の増減



前期比 $\Delta 994$ 億円

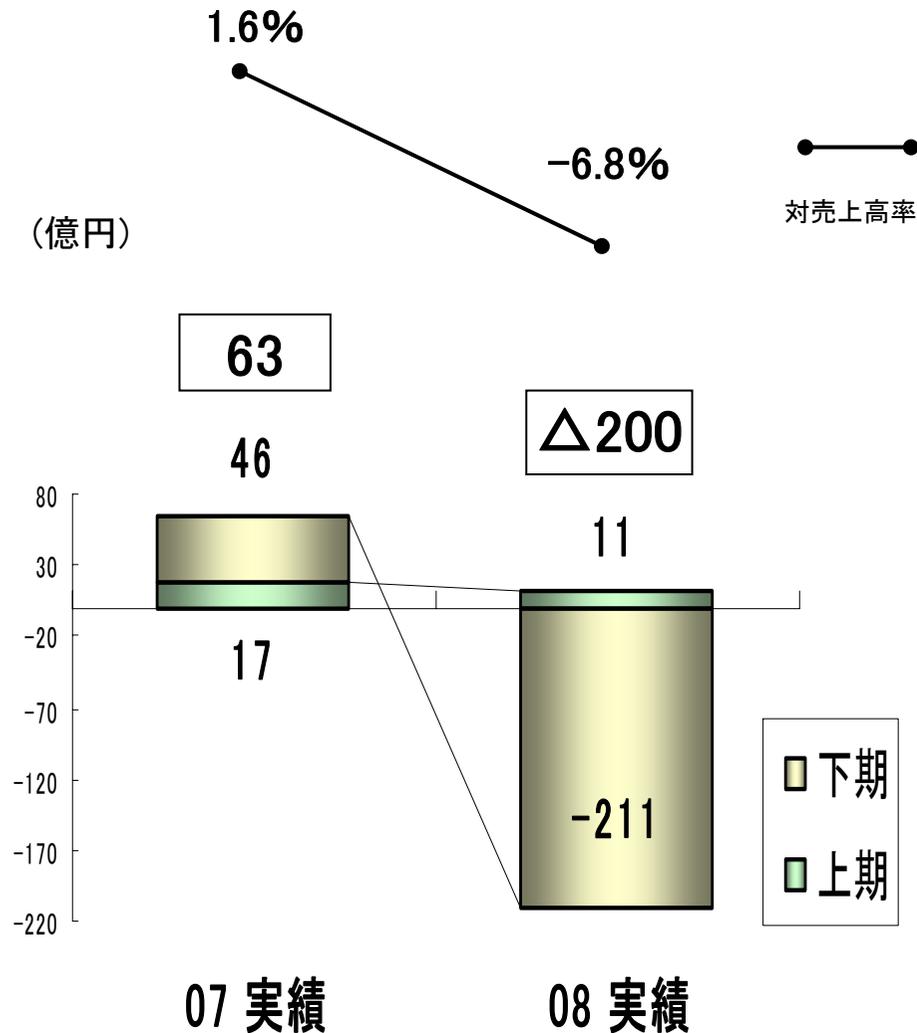
主な増減の要因

- ・コンポーネント事業
携帯用スイッチ、コネクタや車載用センサの減少等 $\Delta 231$ 億円
- ・車載電装事業
世界的な自動車生産台数の減少等による減少 $\Delta 309$ 億円
- ・情報通信事業
放送系・通信系モジュール製品の減少等 $\Delta 115$ 億円
- ・周辺事業
ゲーム用コントローラモジュールの減少等 $\Delta 213$ 億円
- ・磁気デバイス事業
HDD用ヘッドの終息による減少 $\Delta 126$ 億円

(注)セグメント間売上高消去後で表示



■ 営業利益の増減



前期比 $\Delta 263$ 億円

主な増減の要因

- ◇ 為替の影響 $\Delta 47$ 億円
 - ・USD安円高 $\Delta 33$ 億円
 - ・EUR安円高 $\Delta 13$ 億円
- ◇ 為替影響除く $\Delta 216$ 億円
 - ・売上高の減少による減 $\Delta 350$ 億円
 - ・減損等による償却費の減 $+72$ 億円
 - ・規模減による固定費の削減等 $+60$ 億円



■ 売上高・営業利益への1円当り影響額

< 連結ベース >

- ・ 売上高 対USD 1.4億円/月 対EUR 0.5億円/月
- ・ 営業利益 対USD 0.3億円/月 対EUR 0.2億円/月

< 電子部品事業 >

- ・ 売上高 対USD 0.9億円/月 対EUR 0.2億円/月
- ・ 営業利益 対USD 0.2億円/月 対EUR 0.0億円/月

(注) 2009年3月期実績をもとに算出。

目次



1. 2009年3月期 実績報告

1-1. 連結業績の状況

1-2. 電子部品事業の状況

2. 2010年3月期の見通し

2-1. 連結業績の状況

2-2. 電子部品事業の状況

2010年3月期の見通し 連結業績の状況



(単位:億円、単位未満切捨て)

	2009/3期		2010/3期				
	実績		予想			前期比 増減	
			上期	下期	計		
電子部品事業	2,919		1,200	1,300	2,500	-419	
音響製品事業	1,932		790	910	1,700	-232	
物流・その他事業	537		210	220	430	-107	
売上高	5,389		2,200	2,430	4,630	-759	
電子部品事業	-200		-70	20	-50	150	
音響製品事業	-101		-70	40	-30	71	
物流・その他事業	39		6	17	23	-16	
消去	2		-6	17	11	9	
営業利益	-260	-4.8%	-140	95	-45	-1.0%	215
経常利益	-228	-4.2%	-160	80	-80	-1.7%	148
当期純利益	-693	-12.9%	-140	15	-125	-2.7%	568
為替	円/USD	100.54	100.00			-0.54	
	円/EUR	143.48	130.00			-13.48	

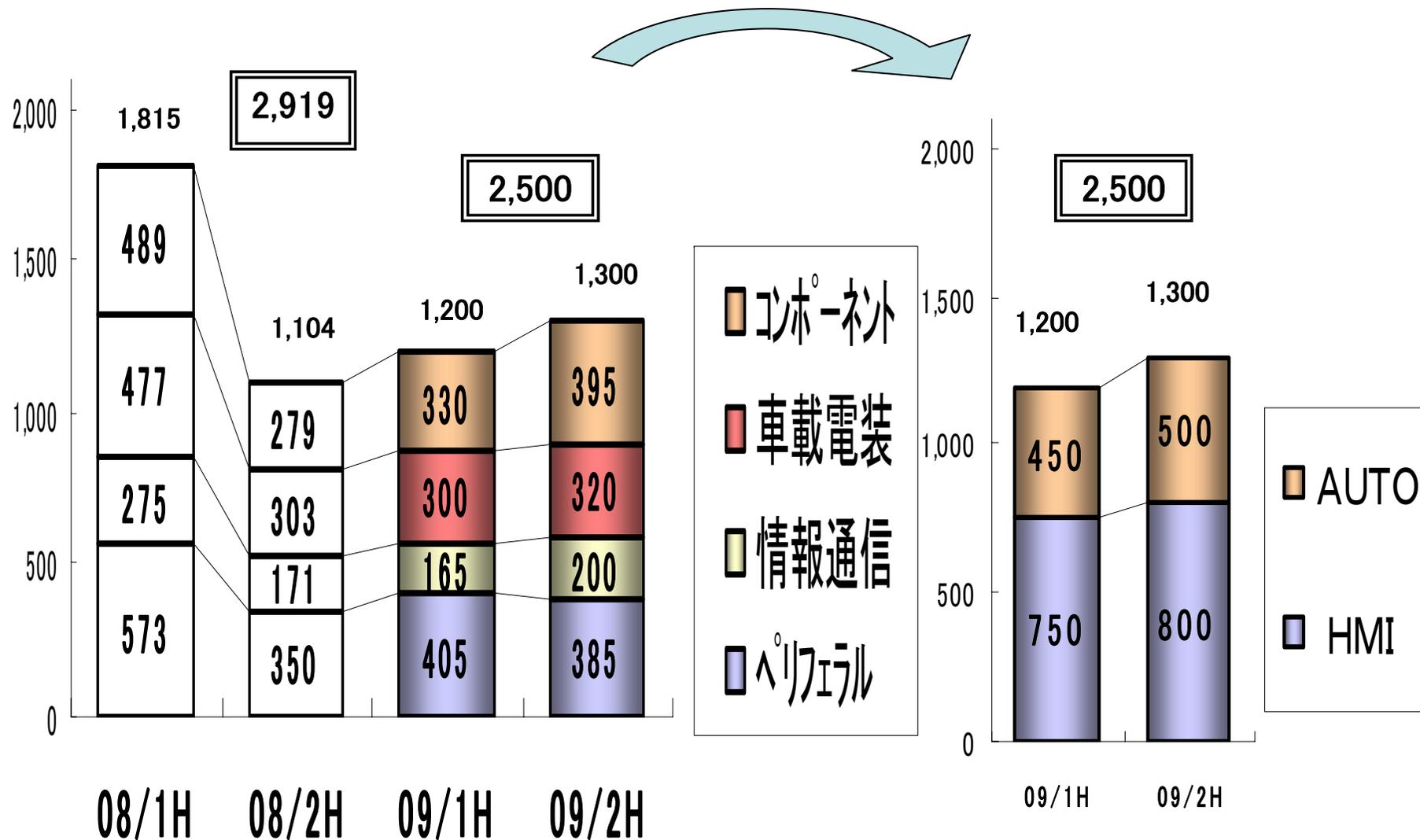
投資の見通し(カッコは前年度実績)

〈連結〉 設備投資 220億円(422億円) 研究開発投資 330億円(421億円)

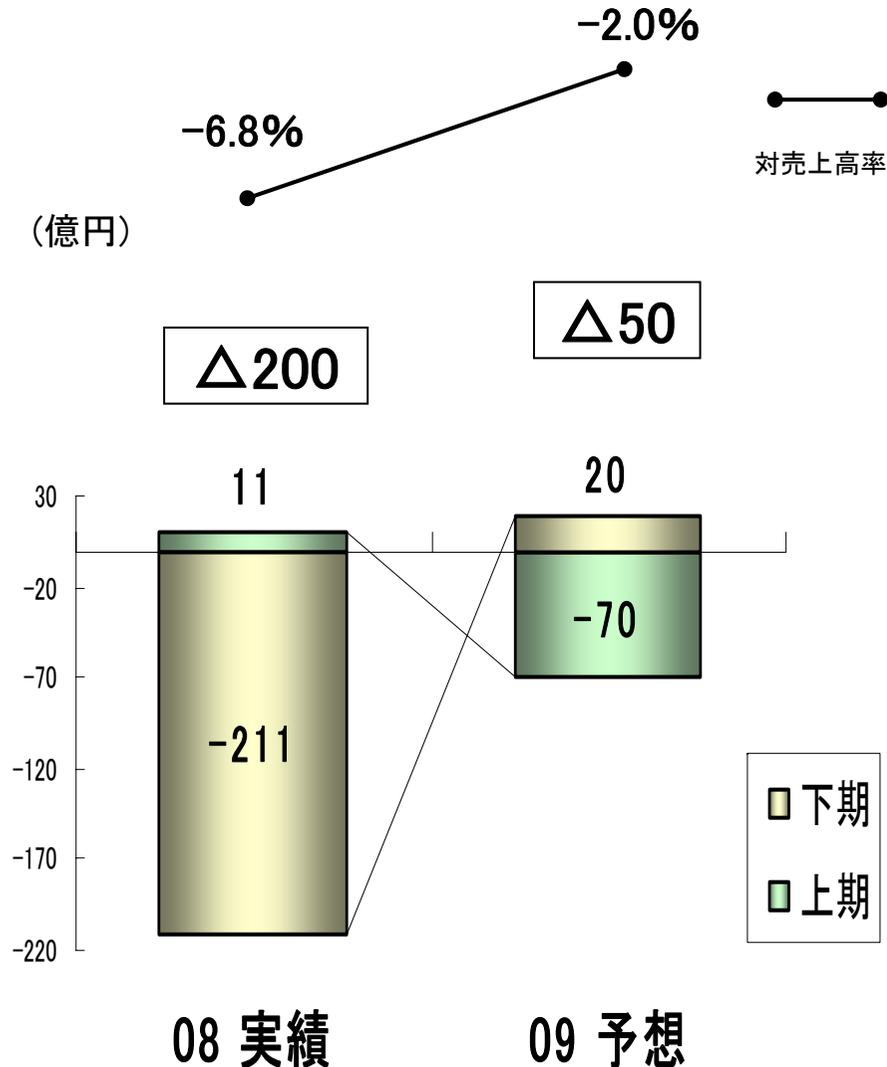
〈電子部品事業〉 設備投資 150億円(294億円) 研究開発投資 100億円(138億円)

2010年3月期の見通し 電子部品事業の状況

■ 売上高の内訳



■ 営業利益の見通し

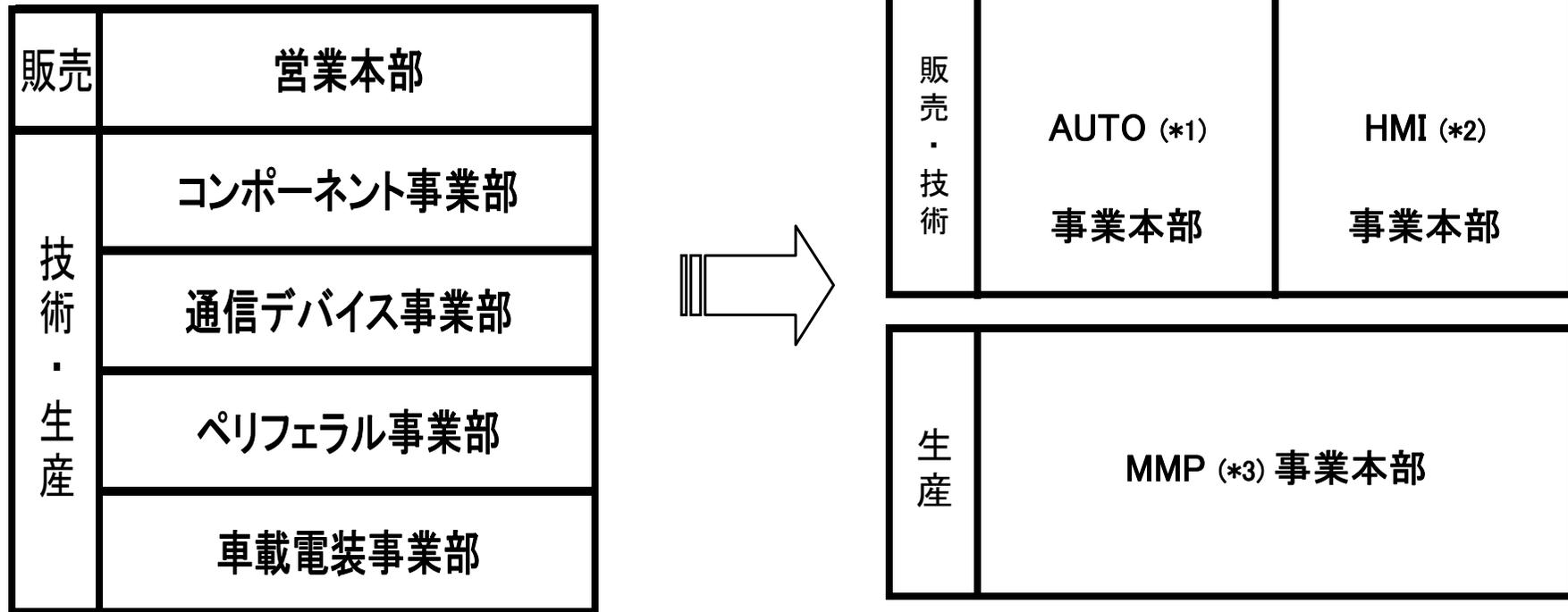


前期比 +150億円

主な増減の要因

- ・EUR安円高による減 (@143→@130)
△10億円
- ・売上高の減少による減
△140億円
- ・緊急収益改善施策の実施及び構造改革の実施による原価改善等
+300億円

構造改革の概要



(*1) AUTO = AUTOMOTIVE

(*2) HMI = HOME, MOBILE & INDUSTRY

(*3) MMP = MECHATRONICS, MATERIALS & PROCESS

【売上を確保する力の強化】

⇒ 営業と技術が一体化した、2事業本部(AUTO、HMI)への再編

【原価低減力の強化と強い基幹製品の創出】

⇒ グローバルのものづくりの思想と生産機能を集約した、MMP事業本部の設置

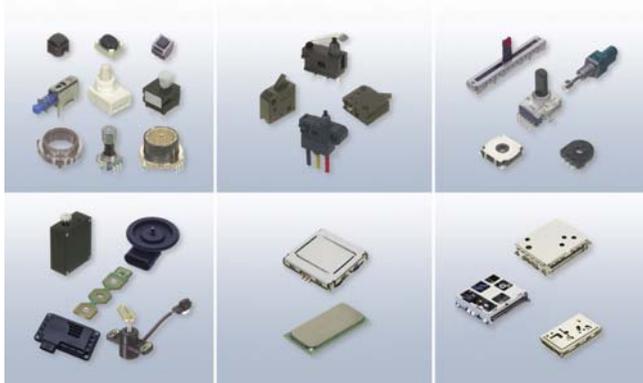
■ AUTO事業本部 売上高(見通し) 950億円

＜事業概要＞

AUTO事業本部は車載関連市場に向け、営業部門と技術部門が一体となった製品開発・販売活動を行ってまいります。

＜基本方針＞

- ・顧客視点での技術の提案と製品の提供
- ・民生市場(家電・携帯機器)で培ったコア技術を活かした、先進性ある製品の継続創出
- ・車載ビジネスで蓄積してきた品質サポート体制の展開による、基幹製品の競争力アップと拡販
- ・グローバル事業(生産・販売)体制の最適化および再構築



Tier 1,2向け基幹製品群



自動車メーカー向けモジュール製品



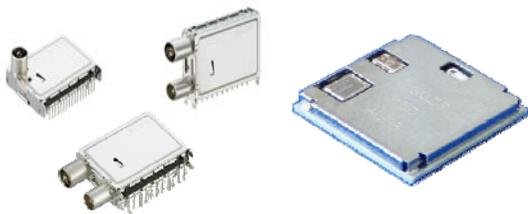
■ HMI事業本部 売上高(見通し) 1,550億円

<事業概要>

HMI事業本部は、ホーム・モバイル・インダストリー市場向けに、営業と技術部門が一体となり、より顧客ニーズに合致した製品開発・販売活動を行ってまいります。

<基本方針>

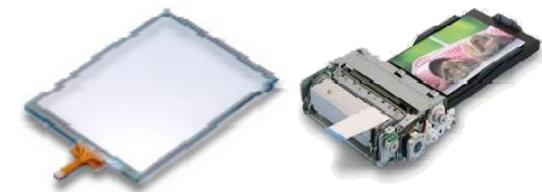
- ・市場や顧客ニーズへのスピーディーな対応
- ・インダストリー市場に対する基幹製品の幅広い拡販
- ・強い基幹製品をベースとしたモジュール製品対応力の強化
- ・グローバル顧客に対する、グローバル体制の更なる強化による優位性の維持、増大



高周波関連製品



コンポーネント製品



入出力関連製品

2010年3月期の見通し 電子部品事業の状況

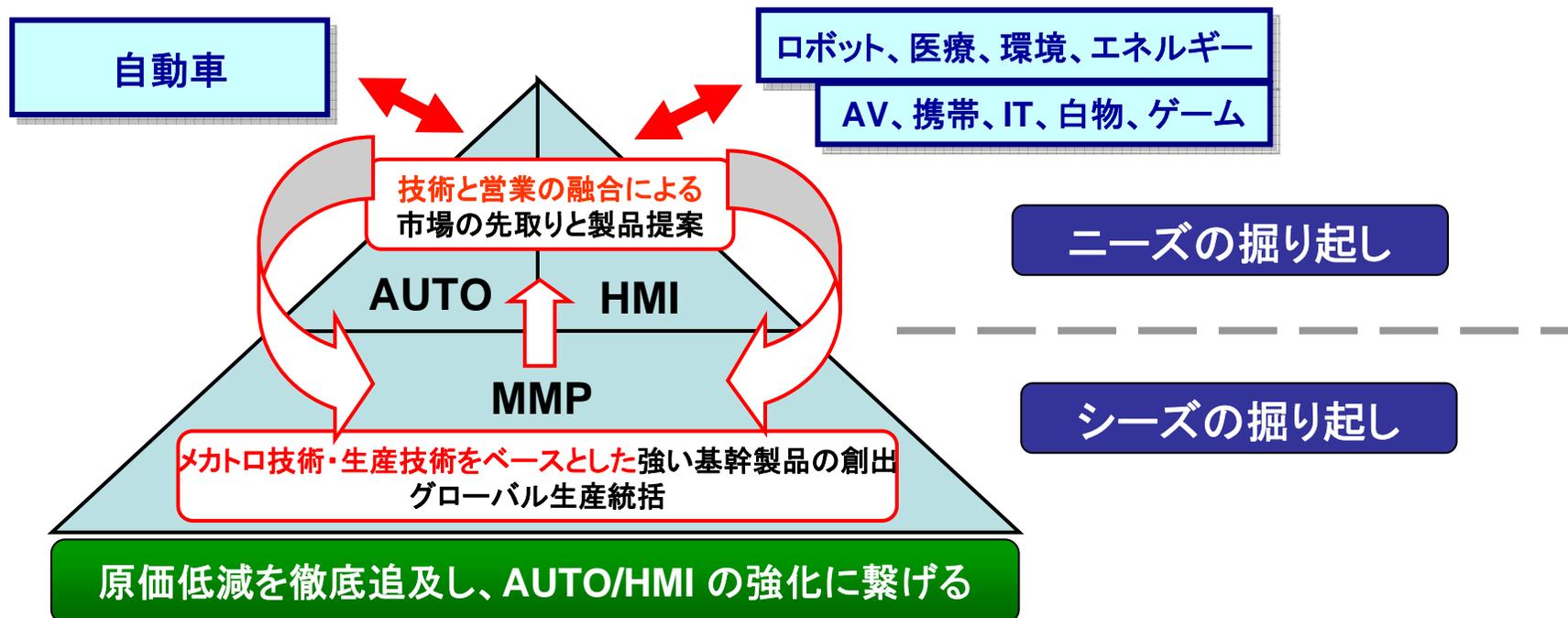
■ MMP事業本部

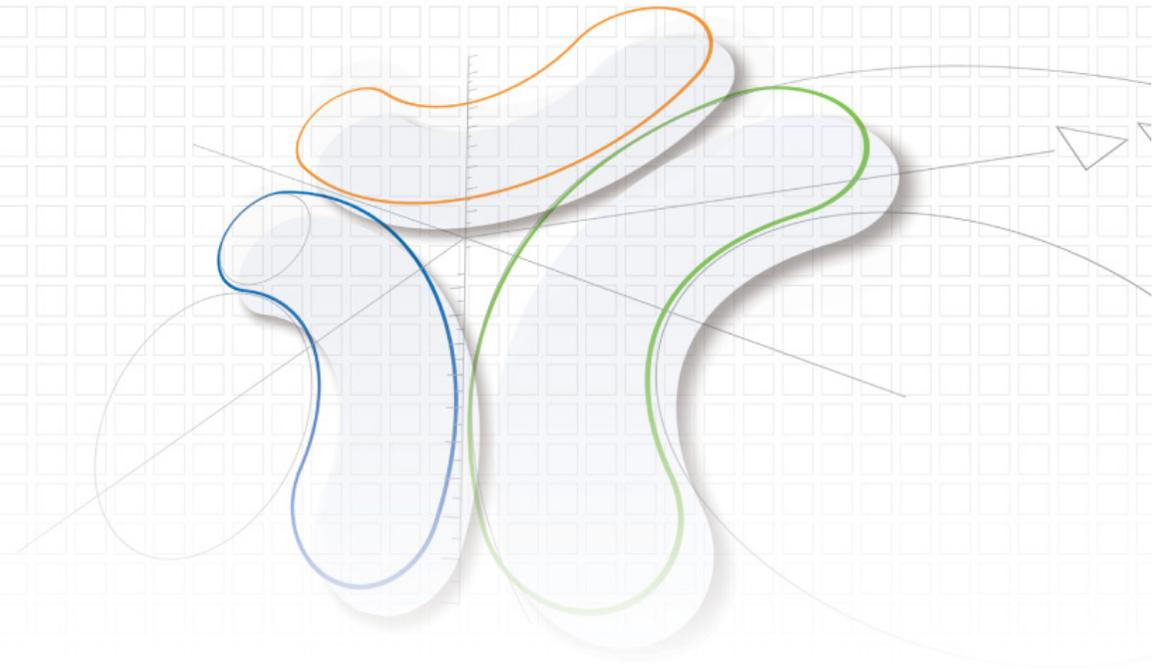
<事業概要>

MMP事業本部は、「競争力のある原価」を実現し、「強い基幹製品」を継続して創出していくことにより、AUTO/HMI 両事業を支えてまいります。

<基本方針>

- ・「メカトロ※)」「材料」「生産技術」をベースとしたモノづくりの強化
 - ・シーズ(独自のコア技術や材料、アイデア)の掘り起しによる強い基幹製品の継続創出
- ※メカトロ=メカトロニクス。メカ(高度な機械技術)+エレクトロニクス(電子工学)の造語。





当スライドの予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。よって、見通し・予想を算定するため過去に認識された事実以外に、見通し・予想を行うための仮定等を使用しています。これらの記述については、将来その通りに実現するという保証はありません。また、本資料は会計士監査対象外となっています。

美しい電子部品を究めます
ALPS[®]